

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を!

ほっかいどうの社会保障

2015年1月 6日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

**だれでも、人間らしく住み続けられるまちづくりを
悪政をストップさせ、社会保障を充実させる年に**



安倍政権によって暮らしが大変になっています。誰でも、人間らしく住み続けられるまちづくりを進めるため、国の悪政をストップさせ、地域でも社会保障を充実させる取り組みを進めましょう。今年、知事、道議選挙をはじめ、いっせい地方選挙もあります。高齢者保健福祉計画・介護保険計画の実施、子ども・子育て新システムが実施される年でもあります。

4月からの介護保険等計画 保険料の値上げも パブコメもはじまる

	基準保険料(月額)	特養増	パブコメ期間
札幌市	4656円→5400円	800床増	～1月20日
旭川市	5675円→6040円	122床増	～1月19日
釧路市	4437円→(空白)	90床増	～1月13日
苫小牧市	4858円→(空白)	100床増	～1月26日
小樽市	5460円→5980円	—	～2月4日

「第6期高齢者保健計画・介護保険計画」の作成が大詰めを迎えています。パブコメを行っている自治体もありますが、保険料の値上げが目立ちます(北広島市は基準月額が現行の1.4倍の5400円)。特養待機者解決など地域の実態や要求に基づいた計画にするため、パブコメ応募や自治体への要請を強めましょう。

子ども・子育て新システム 「不安がいっぱい」 札幌市と交渉

新年度から、子ども・子育て新システムが始まろうとしていますが、具体的な中身がはっきりせず、保育士や保護者の間に不安が広がっています。12月19日には、札幌保育連絡会と札幌保育労働組合が札幌市と交渉しました。



【出された意見から】

- 保育時間は、短時間ではなくしてほしい(佐世保市のように)
 - 保育料は値上げせず、値下げをしてほしい。
 - 職員の処遇を改善してほしい(非正規で手取り12万円、冬は暖房をつけずに家で残業)
 - 保育園は、通常の認可保育園の建設、増設をしてほしい。
- (市の計画の約半数が株式会社、今もJR高架下(左写真)や、園庭がない園があります)



就学援助の充実を 釧路では市議会で請願可決・旭川では引き上げ案でパブコメ応募

就学援助の充実を求める世論と運動が広がっています。とりわけ、就学援助(準要保護)認定基準を、生活保護を基準の一つとしている市町村(道内154市町村)は、生活保護基準の引き下げに伴い、来年度から対象が縮小されます。児童生徒への影響を与えないためには、認定基準の引き上げが必要です。

釧路市では、「就学援助の基準引き上げと拡充を求める会」を6月に結成し、認定基準を生保基準の1.2倍から1.3倍に引き上げること、支給内容を拡充することを求め、市長への要請署名(2233筆)を提出(写真)し、12月市議会へ請願書も提出しました。



議会では、教育部長から「生活保護費削減により469人(15%)に影響がでる。PTA会費などの3項目は22年度から国の支給対象となっている」「道教委からも通達があり、現在支給されている児童生徒に影響が及ばないようにしたい」と発言があり、**請願は可決**されました。最終的な市長の判断は予算案発表時ですが、就学援助を受けける児童生徒への影響は回避される見通しです。

旭川市では、「子育て支援を充実させる会」が就学援助制度などの改善を求める活動してきましたが、昨年暮れ、市が「就学援助制度の見直し素案」(拡充案)についてパブコメを行いました。

◇認定要件の見直し：生保基準に乗じる倍率(1.2倍)を段階的に引き上げる
(2015年度1.25倍・2016年度1.28倍)
◇助成内容の見直し：PTA会費、生徒会費、クラブ活動費の新設など【ただし、実施時期は財政状況を見ながら今度検討して行く】

会としても、助成の見直しも来年度からの実施など充実を求める意見を提出しました。